

立教大学教会音楽研究所
2018年度秋学期 オルガン特別講座

「英国のオルガン音楽」

2019年1月11日(金) 18:30~20:00

於・立教学院諸聖徒礼拝堂(立教大学・池袋キャンパス)

英国のオルガン音楽は 現在に至るまで多くの優れた新曲が
書かれていますが その中でも特に
スタンフォードとウィットロックに焦点を当てつつ
バーミンガムを拠点に活躍されているフェアーズ氏に
作品について レッスンと講義をしていただきます

講 師 **ヘンリー・フェアーズ Henry Fairs**
(バーミンガム音楽院オルガン科研究部長)

通 訳 **ジェームス・ドーソン James Dawson**
(2018年度秋学期・立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊長
当研究所所員)

オルガン **崎山 裕子**
(立教学院オルガニスト、当研究所所員)

立教大学オーガニスト・ギルド

定員 200名 参加費・無料 お申し込み不要

※ 同日1月11日(金) 17:30から、諸聖徒礼拝堂で「歌による夕の祈り」が行われます。
お時間のある方は、どうぞご参加ください。オルガン特別講座は、引き続き開催されます。

お問い合わせ

立教大学教会音楽研究所

E-mail : music@rikkyo.ac.jp

※不在のことが多いのでメールでのお問い合わせをお願いいたします。

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

Tel & Fax : 03-3985-2786

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/icm/>

<講師プロフィール>

ヘンリー・フェアーズ Henry Fairs

英国西部のヘレフォード生まれ。幼少期より、レオミンスター修道院の聖歌隊員として音楽教育を受け、バーミンガム音楽院を首席で卒業。王立オルガニスト協会から特別賞を受賞。奨学金を得てパリ、ケルン、ウィーンで研鑽を積む。多種多様なレパートリーを演奏するなか、最近は特にバッハや M. レーガーの作品に対する研究を深めている。また、J. アラン、リスト、ロイブケ、メシアン、デュルフレなど、19~20 世紀のオルガン音楽を積極的に演奏してきた。パリ、セント・オルバンズ、シャルトルをはじめとする数々の著名な国際オルガン・コンクールで受賞し、デンマークのオーデンセ国際オルガン・コンクールで優勝及び特別賞を受賞したのち、ヨーロッパは元よりアメリカ、カナダ、ロシア、日本など、活発な演奏活動を行う。また、各地のオルガン講習会の講師や国際コンクールの審査員に招かれている。

現在、バーミンガム音楽院オルガン科研究部長、バーミンガム大学オルガニスト、スコットランドのセント・アンドリュース大学オルガン科名誉教授、ライブツィツヒのフェリクス・メンデルスゾーン芸術音楽院オルガン科の客員教授を務める。



立教大学 池袋キャンパス 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

